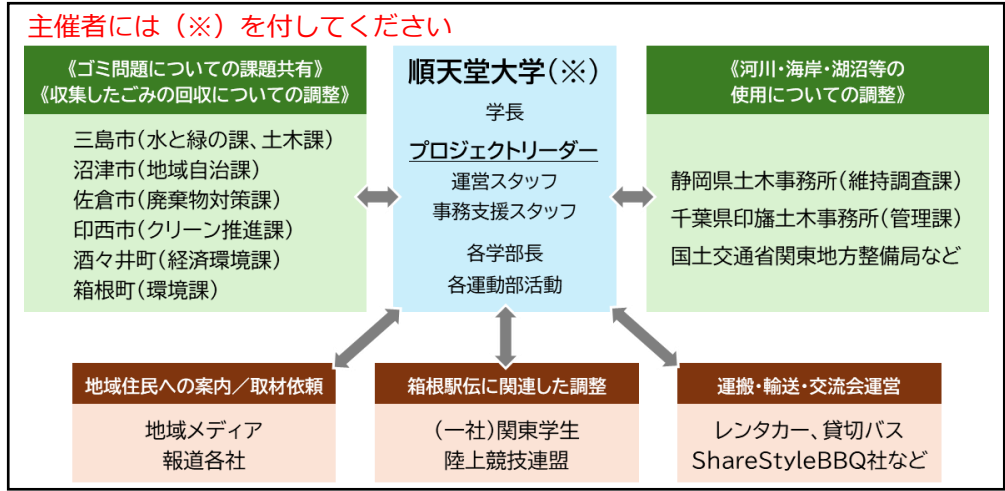


実施計画名	大学スポーツ資源を活用した地域のウェルビーイング向上事業 「スポーツ×環境問題 ～水辺と箱根路をアウトドアスポーツ体験できれいに！～」	
事業概要	事業①：サプウェル（SUP×ウェルネス）：リバー&マリナクリーンアップSUP体験（計4回） 本学のキャンパス近隣の河川、海岸、湖沼をフィールドに、人気アウトドアアクティビティであるSUP（スタンド・アップ・パドルボード）を体験しながら、水辺のゴミ回収を行う。 事業②：箱根旧街道 Trash Trail Relay（TTR）～ゴミ拾い箱根駅伝（1回） 箱根駅伝のコースを、ゴミを拾いながら歩き、背負っているゴミ箱とゴミバサミを襷（たすき）の代わりに繋ぐ駅伝風リレー。チェックポイントを設けてチーム間で競い合うなどゲームの要素を持たせる。	

■対象地域が抱える課題

対象地域	静岡県三島市、沼津市、千葉県印旛地域 神奈川県箱根町
【河川・海岸・湖沼、道路等のゴミ問題】 地域のゴミ、とりわけ河川、海岸、湖沼や道路のプラスチックを中心としたゴミは、地域全体の自然環境を脅かすだけでなく、海洋汚染など地球規模の問題に発展しつつある。過疎化および高齢化が進み、手作業での回収には若い世代の力が必須にも関わらず、実際には十分ではなく、ゴミ処理問題が山積している。	

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）



■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

・アウトドアスポーツを安全かつ魅力的に指導できる教員 ・スポーツや医学のバックグラウンドを持つ数千人規模の学生 などの資源を「アウトドアスポーツ×環境問題」という新しい取組の企画・実践に活用する。
事業①：SUPを用いた河川のゴミ拾いは、これまで三島キャンパスにおいて小規模に行われてきたが、本事業ではキャンパス、学部を横断的に全学規模のプロジェクトに拡大する。 （三島市で1回、沼津市で1回、印旛地域で2回実施） 事業②：①の企画・運営ノウハウを生かし、箱根駅伝5区を中心とする道路でゴミ拾いを行う新たなプロジェクトに挑戦する。 いずれも、本学学生のみならず、地域住民にも参加を呼び掛ける。

■期待される事業結果・効果

【自治体・参加者における効果】 ・ゴミ問題における持続可能な担い手の確保 ・学生や地域住民の環境問題への意識・関心の向上と行動変容 ・アウトドアスポーツ体験によるウェルビーイングの向上 【広報活動による効果】 各地域のメディア露出に加え、事業②については箱根駅伝に関連したマスメディアへの露出拡大を狙う。 【自走化と横展開の計画】 次年度以降は本学における自走化に加え、類似の取り組みをする他大学との連携や、複数大学でのゴミ拾いの実施に取り組む。
